



渥美半島特有の風を背にスタートする選手たち

12月16日 声援が 力走後押し

渥美半島の冬の風物詩として定着している渥美半島駅伝競走大会が開催されました。今回は60回の節目の大会とあって、出場チームは招待チーム20チームをはじめとする計116チームと、史上最多となりました。伊良湖岬を出発点に、男子は豊橋技術科学大学までの5区間43.8km、女子は田原市赤羽根支所までの5区間19.7kmでたすきをリレーする選手に、沿道を埋めた市民らの温かい声援や拍手が送られていました。

Tahara City News

たはらシティニュース / Tahara City News

12月1日



市長が駅長に扮し、出発進行の合図で運行が開始されました

12月12日 春一色の 黄色い電車&バス

豊橋鉄道渥美線、豊鉄バスの車両を満開の菜の花の写真でラッピングした「なのはな号」の運行が開始されました。1日に12往復する渥美線の「なのはな号」は、菜の花柄の座席シートをはじめ、つり皮バンドから扇風機の羽根まで黄色で統一されています。「菜の花まつり」の開催に合わせた運行初日には、「なのはな号」電車で田原駅に着いたり、「なのはな号」バスに乗り込んだりするお客さんに、田原市観光協会から菜の花がプレゼントされました。



これから未来を切り開くのは新成人の皆さんです！

12月13日 大人の社会へ 仲間入り

平成20年田原市成人式を、田原市総合体育館で行いました。晴れて成人の日を迎えたのは、男性530名・女性497名、計1027名の皆さんです。式典では、代表者の中村泰子さんから「困難なことにもあきらめず、夢に向かって乗り越えていきます」と力強く二十歳の誓いが述べられました。【写真は新成人代表の皆さん】左から高山和紀さん、藤江亜未さん、斉藤みささん、山下嵩弘さん、山田都さん、中村泰子さん、青木紀明さん